

みんなといっしょに活動！ ～そらぐみ、はなぐみとも元気に2時間すごしました～

登園時間の9時、両方の門からお母さんといっしょに園児たちが現れました。「今日もみんなに会えた！」って感じで会話がはずんでいました。部屋に入り上着を脱ぎ、体操服にカラーぼうし姿の園児たちがあちらこちらで躍動しはじめました。はなぐみのみんなは砂場でいろいろなものを作っていました。なんとしばらく遊んでいなかったせいか、砂の中に植物が育っていて、それを引っこ抜いてみて、根の先に種がついていることに感動している園児もいました。そらぐみさんは、チャレンジで出ていた「なわとび」の成果を笑顔で披露していました。次はこぞって玉ねぎの成長を確認にっていました。玉ねぎの成長を確認するや否や、葉っぱの部分が虫に食われていることを発見し、虫をさがしましたがいません。虫のウンチらしき物体を発見し興味津々でした。ああやこうやと意見が交わされ、探究心の旺盛な子どもたちでした。

しばらく遊んだ後、そらぐみでは何やら土とも肥料とも思われるような物体が入った大きな水槽のような入れ物を囲んで話が弾んでおりました。どうやらカブトムシの幼虫が入っているようです。実は和泉さんのお家の人が、知り合いの人からいただいたカブトムシの幼虫を幼稚園にプレゼントしてくれたのです。10匹以上いるとのことでした。それを囲んで和泉さんにいろいろと育て方を説明してもらっていたようです。みんな一匹ずつ飼うことになり、慎重にマット(土)から取り出し、手のひらに乗せて大きさや重さを感じとり、丁寧に飼育ケースに入れていきました。みんな幼虫が思ったより大きくて驚いていたようです。残りの幼虫をどうするかという話になり、「はなぐみさんにもあげよう。一緒にそだてよう。」ということになり、はなぐみの部屋に持っていき、各自がカブトムシについて知っていることや、幼虫は大切に持たないといけないこと、これからの水分の与え方などを説明しておりました。進級式に話した「はなぐみさんのお世話をしてください。」といったことをさっそく実行してくれました。自主的な活動の中にほのぼのさもいっぱい嬉しい限りでした。その後、絵本を借りたり、次の登園日の持ち物や予定を確認して解散となりました。園庭のイチゴがまたまた真っ赤な実を付けており、各自が5個程度収穫して帰りました。(実際にはその後ビオトープ池につなげる予定で雨水がたまっていた水路で、ほとんどの園児が元気に遊んでいて、ずい分お迎えのお家の方を待たせておりました。久しぶりに会って、もっと一緒に遊びたかったのかな・・・) とにかく盛りだくさんな内容の濃い登園日となりました。

